

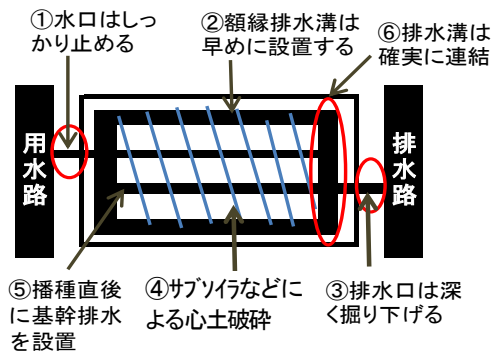
大豆管理情報 第1号

平成 30 年 5 月 18 日
 いなば 農業 技術 者 協 議 会
 事務局 TEL67-8000 【JAいなば営農生産課】
 【西部支店】67-8200 【東部支店】67-8300
 【南部支店】61-8900 【福岡支店】64-8600
 【高岡農林振興センター小矢部班】26-8480

「土づくり」・「排水対策」・「適正な播種」の 実施で初期生育を確保!!

1. 排水対策

播種前にほ場内の排水対策を行いましょ。 (右図参照)



pH6.0~6.5 を目標に石灰質資材を施用し、堆肥等有機物の施用で地力向上に努めましょ。



2. 土づくり・基肥

[資材・基肥の目安]

区分	資材名	10a 当たり施用量
酸度矯正	苦土石灰(粒)	100kg以上
地力の向上	牛ふん	1t
	発酵鶏糞	100~200kg
基肥	BB基肥084	単作:20kg、麦跡:30kg

3. 種子消毒

種子消毒を徹底ましょ。

薬剤名	処理法	対象病害	留意事項
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg当たり原液8mlを塗抹	アブラムシ類、タネバエ、ネキリムシ類、フタスジヒメハムシ、茎疫病、紫斑病等	・塗抹時に効力を添加する ・塗抹後、種子を十分乾かす

4. 播種作業

(1) 耕起~播種の一連の作業は、ほ場が乾いた好天日を選び1日で行いましょ。

- ・欠株を防ぎ、苗立を確保するため、播種速度は0.5m/秒程度の速さ(3連播種機の場合、30aほ場を70分で播種する速度)で播種ましょ。
- ・播種深さは3cmを目安として下さい。

(2) 播種量は播種時期により異なります。早すぎる播種を避け適正な栽植本数を確保して下さい。

(栽植本数が少なすぎると青立ちしやすくなり、逆に多いと倒伏につながります。)

品種	播種時期	栽植本数 (本/10a)	播種量 (kg/10a)	設定条件(条間80cmの場合)			播種粒数 (粒/m)
				目皿	スプロケット 目皿側	車輪側	
エンレイ	5/26~6/10頃	14,000~16,000	4.9~5.6	B-2	11	13	12~14
	6/11~6/20頃	16,000~18,000	5.6~6.3	B-2	10	14	14~17
シュウレイ	5/26~6/10頃	12,000~15,000	4.9~6.2	B-3	11	13	11~13
	6/11~6/20頃	15,000~18,000	6.2~7.4	B-3	9	14	13~17

※大豆の百粒重をエンレイ 31.6g(大粒)、シュウレイ 37.1g(大粒)として計算。苗立率90%の場合。

5. 播種後の除草剤

除草剤は、播種後土壌が湿っている間に散布ましょ。

薬剤名	散布時期	10a 当たり施用量	農薬の総使用回数	効果ある草種
プロールプラス乳剤	播種後出芽前(雑草発生前)	400~600ml/水75~150ℓ	1回	一年生雑草
トレファノサイド粒剤2.5	播種後出芽前	4~6kg	1回	一年生雑草

注) プロールプラス乳剤使用時には、液による着色に注意して下さい。

トレファノサイドは、ツユクサ科、カヤツリグサ科、キク科・アブラナ科の雑草には効果がありません。

難防除雑草は、ほ場周辺で早期に除去ましょ。